



北上市立図書館 基本的運営方針

(令和3年度～令和7年度)

～市民の「し・り・た・い」に答える図書館～

令和3年3月
北上市教育委員会

目次

1	方針の策定にあたって	2
1-1	趣旨	2
1-2	運営方針の位置付け	2
1-3	目標年度と計画期間	2
1-4	関連他計画	2
2	これまでの取り組みと評価	3
2-1	親しみやすい図書館	3
2-2	利用しやすい図書館	4
2-3	頼りになる図書館	5
2-4	憩いの図書館	6
3	北上市立図書館をとりまく現状と課題	8
3-1	社会の変化	8
3-2	北上市立図書館の現状	8
3-2-1	施設概要	8
3-2-2	利用実績の推移	9
3-2-3	数値目標達成状況	11
3-2-4	市民ニーズの状況	11
3-3	北上市立図書館の課題	13
3-3-1	新規登録者数の減少	13
3-3-2	若年層の読書離れ	13
3-3-3	多様化する情報への対応	13
3-3-4	図書館の基本的機能の充実	13
4	北上市立図書館のあるべき姿	14
4-1	基本理念	14
4-2	基本方針	14
4-2-1	親しみやすい図書館	15
4-2-2	利用しやすい図書館	17
4-2-3	頼りになる図書館	19
4-2-4	憩いの図書館	20
5	進捗状況の点検・評価	21
5-1	方法	21
5-2	数値目標	21
6	資料	22
6-1	利用者アンケート質問票	22

1 方針の策定にあたって

1-1 趣旨

北上市立図書館では、平成 28 年度に北上市立図書館基本的運営方針（以下「運営方針」）を策定し、図書館が目指すべき姿として掲げた基本理念の実現に取り組んできました。

目標年次（令和 2 年度）に当たる今年、これまでの事業実績や達成度、利用者満足度を評価し、社会環境の大きな変化等を踏まえて、新たな運営方針を策定します。

1-2 運営方針の位置付け

運営方針は「図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成 24 年 12 月 19 日 文部科学省告示第 172 号）」（以下「運営基準」）において市町村立図書館の管理運営について、社会の変化や地域の実情に応じ、事業実施の基本的な運営の方針を策定するとともに、数値目標及び年度ごとの事業計画を策定し、その達成状況を自ら点検評価するように努めることと規程されており、この運営基準に定められた基本的運営方針として策定します。

運営方針は、北上市総合計画における基本目標「ひと」に関わる教育施策に沿い、その具体的な内容を示すと共に、北上市教育大綱の理念を実現しようとする北上市教育振興基本計画を上位計画とした個別計画の一つです。

1-3 目標年度と計画期間

(1) 目標年度

令和 7 年度（2025 年度）

(2) 計画期間

令和 3 年度（2021 年度）～令和 7 年度（2025 年度）

1-4 関連他計画

(1) 北上市総合計画

多様な社会教育への対応、市民の郷土意識向上の取り組みとして、図書館の幅広い年代の利活用を図るため、豊富な資料の収集、保存に努め、市民の生涯学習のサポートをしていくことが必要。

(2) 北上市教育振興基本計画

10 代後半から 20 代前半の登録者が少なく、若年層の読書離れに取り組む。

読書の習慣の基礎となる幼少期（子育て期）から本に親しむ機会の提供や事業を推進し、幅広い世代のニーズに対応するため、生涯にわたり本が身近な存在となる環境を整えると共に、深い知識をもった専門職員の育成を図る。

図書館と学校とが連携した読書推進活動も展開していく。

(3) 北上市地域教育力向上推進計画（別冊 第 4 次北上市子どもの読書推進計画）

子どもたちが意欲的に本と出会い触れ合える読書環境を整備し、読書が習慣化できるよう、読書活動を推進していく。

2 これまでの取り組みと評価

市立図書館が目指すべき姿を「市民の学びに寄り添い『知る自由』を保障する知と情報の拠点」とし、4つの基本方針を定め、取り組んできました。

計画の中間年である平成30年度において、中間検証を行い、その結果「魅力ある新刊情報のタイムリーな提供」「サービス内容の周知の強化」「新たな利用者の掘り起こし」の取り組みを強化してきました。これまでの取り組みと評価は、次のとおりです。

2-1 親しみやすい図書館

基本方針1 親しみやすい図書館（最重点分野）

<p>評価のポイントと取組事例</p>	<p>(1) 乳幼児向け</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ブックスタート 配布数 645、配布率 95.83%（平成30年度実績） ② 赤ちゃんおはなし会 月1回開催 参加者 172人（平成30年度実績） ③ 幼稚園保育園貸切利用 <p>(2) 子供（児童）向け</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 自動車文庫ともしび号巡回 全小学校 約37,000冊貸出 児童1人当たり7.4冊 ② おはなし会（中央：月1回、江釣子：隔月1回、和賀：隔月1回） 参加者 496人（平成30年度実績） ③ 子ども映画会 参加者 314人（平成30年度実績） ④ 読書通帳の配布 配布数約2,000冊（平成30年度実績） 市内在住マンガ家「ゆうしょう」さんの表紙にリニューアル ⑤ 1日図書館司書、手づくり絵本展、大型えほん展、工作教室、絵本ふれあいボランティア、百科事典の引き方学習支援、施設見学ほか <p>(3) 中高生向け</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ティーンズコーナー設置 ② 職場体験、インターンシップの積極的な受け入れ ③ 学校を訪問しての本の紹介、本の修理指導や壁面装飾づくり <p>(4) 一般・全利用者向け</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 大人名画座 参加者 149人（平成30年度実績） ② 各種講座、テーマ展・企画展 ③ 本の福袋 <p>※令和元年度は新型コロナウイルスの影響により2～3月のイベント等が中止となったため、平成30年度の実績を掲載。</p>
<p>評価</p>	<p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートをきっかけに、図書館に来館する親子が増えた。中央図書館に「あかちゃん絵本コーナー」を設置し、絵本を選びやすくすることで継続的な読み聞かせの推進を図った。赤ちゃんおはなし会により、図書館への来館を促すきっかけ作りができた。 ・ともしび号巡回により学校図書、学級図書の充実に貢献した。また、おはなし会等のイベントの定期開催により、家族連れが増え、来館者が増加した。 ・職場体験やインターンシップの受け入れにより、図書館への関心を高めることができた。また、講座や企画展の開催が来館者増加につながった。 ・幼保貸切利用で幼児に絵本や図書館とのふれあいの場を提供できた。 ・中高生モニターが実施できなかった。学校行事との調整が難しく、中高生への効果的

	<p>な取り組みが十分にできなかった。専門性の高い職員が減って学校からの要望に応えられないこともあった。</p> <p>【図書館協議会の評価・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼保貸切利用は利用者も多くニーズに合致した取り組みで評価できる。休館日対応は職員の負担もあると思うが、工夫して実施してもらいたい。 ・一日図書館司書について希望者多数で抽選もあるとのこと。せつかくの機会なのですべての希望者が参加できるよう工夫して欲しい。 ・ティーンズコーナーの選書が良いと子供から聞いた。大人も興味深い。今後も充実させてもっと利用者が増えるようにしたほうが良い。 <p>【総合評価】</p> <p>A 計画通り実施し、一定の成果があった。</p> <p>B 概ね計画どおりだが不十分な点や課題が残った。</p> <p>C 不十分な点や課題が多く、計画通りにいかなかった。</p>
--	---

2-2 利用しやすい図書館

基本方針2 利用しやすい図書館

評価の ポイント と取組 事例	<p>(2) 資料の充実・整理・提供方法の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 資料分類・配架方法の見直し <ul style="list-style-type: none"> (中央) 児童書外国文学の配架替え 地域資料データの作成・遡及修正・追記 (和賀) 移転による抜本の見直し 子育て関連資料の特化と集中配架 ② 雑誌スポンサーによる雑誌の充実 24社28誌(令和2年12月現在) ③ 相互貸借による絶版・品切れ資料の提供 令和2年 1,007件(貸出405・借受602) ④ 書架整理・修理ボラ 延べ267人活動、登録者20人(令和元年度実績) <p>(2) 積極的な情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ホームページの充実 ホームページリニューアルによる見易さの向上 学習用開放スペース情報掲載 ② 図書館外での広報推進 読書のつどい 令和2年度～ 北上ケーブルテレビ「GO!GO!図書館」毎月第3火 北上市コミュニティFMでの新刊紹介(不定期) <p>(3) 図書館サービス網の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 自動車文庫ともしび号の巡回 ② 地域文庫への協力 ボランティアグループ交流会 除籍本の無償提供 学校477冊 団体1,100冊 個人12,833冊 (令和元年度実績) <p>(4) 障がい者サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 対面朗読 ② 自宅配送サービス
--------------------------	---

	<p>③ 大活字本の購入</p> <p>(5) 視聴覚ライブラリー推進</p> <p>① 資料整備 (上映権付資料の購入)</p> <p>② 器材・教材の貸出</p> <p>③ 16ミリ映写機講習会開催</p>
評価	<p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の動向に合わせて資料の配架替えを行い、より本が探しやすい閲覧室にすることができた。 ・和賀図書館移転に伴い、選書・除籍・配架の抜本的に見直しを行った。子育て世代向けの閲覧室にリニューアルし好評を得ている。 ・雑誌スポンサー制度により、充実した資料提供ができ好評を得ている。雑誌閲覧目的での来館者も多く、バックナンバーの利用率も高い。 ・ホームページに週末の学習用スペース情報を追加したことで、タイムリーに学習室の有無が分かるようになり利便性が向上した。 ・ともしび号の巡回により、幼児及び児童、高齢者を中心に自力で図書館に行くことができない人への本の提供ができています。 ・視聴覚ライブラリー事業により、高齢者施設に安心・安全な器材や教材を提供することができたが、学校からの利用は減少した。 ・老朽化の著しいともしび号の更新が決定した。 <p>【図書館協議会の評価・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページが非常に使いやすくなった。アクセス件数を表示した方がよい。更新をこまめに実施して飽きられないように運用して欲しい。 ・ホームページでの学習スペース開放情報、ケーブルテレビでの情報提供など評価できる。一方インターネット環境のない市民への情報伝達について考えて欲しい。 ・学校では児童にタブレットを配布するなど視聴覚教材活用環境が変わってきている。図書館の視聴覚ライブラリーの在り方もそれに合わせて考えていかなければ利用は減少していくだろう。 <p>【総合評価】</p> <p>A 計画通り実施し、一定の成果があった。</p> <p>B 概ね計画どおりだが不十分な点や課題が残った。</p> <p>C 不十分な点や課題が多く、計画通りにいかなかった。</p>

2-3 頼りになる図書館

基本方針3 頼りになる図書館

評価のポイントと取組事例	<p>(1) 職員のレファレンス技術向上 職員の研修参加と職場での共有</p> <p>(2) 情報提供能力の強化</p> <p>① 図書館システムの更新及び自動貸出機の導入 インターネット検索・予約システムのリニューアル</p> <p>② ICシステム導入 (準備) ICタグを貼付し、蔵書管理や貸出管理を行う準備を開始した。</p> <p>④ 利用者用インターネットの提供</p> <p>(3) レファレンス機能の周知</p> <p>① ホームページによるレファレンスサービスの広報</p> <p>② ホームページによるレファレンス事例の公開</p>
--------------	--

	<p>(4) 地域資料の活用促進</p> <p>① 図書館収蔵資料展開催</p> <p>② 古文書の整理・解読及び目録作成</p>
評価	<p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会や研修会に参加し、レファレンス技術の向上に取り組んでいるが、すべての職員が向上するまでには至っていない。 ・図書館からの情報提供、サービスの周知についてより効果的な手段を考えていきたい。 ・図書館システムの更新により、インターネット検索や予約システムの利便性が向上し、利用件数も増加している。 ・I Cシステムの導入とセキュリティゲートの設置（令和3）により、長年課題であった資料管理が可能となり、閲覧室内のサービス機能が向上する。 ・利用者用インターネット機器を設置し、情報検索の環境を整えることができたが、国立国会図書館デジタルコレクションは専用端末が確保できず導入には至らなかった。 ・ホームページのリニューアルに伴い、メールによるレファレンス依頼が容易になり利便性が向上した。 ・図書館収蔵資料展を開催し市民の皆様にご覧いただいているが、歴史に興味を持つ市民の掘り起こしや、情報提供に繋がっている。 ・古文書の整理・解読・目録作成を行い、市外の研究者へも情報提供を行っているが、資料の劣化に伴いデジタル画像の提供へ移行する必要性が生じている。 <p>【図書館協議会の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くのレファレンス対応を評価する。職員が忙しそうで声をかけづらいと思っていた。 ・職員の専門性の不足は課題である。向上に取り組んで欲しい。関連して正規雇用職員の増が必要なのではないか。 <p>【総合評価】</p> <p>A 計画通り実施し、一定の成果があった。</p> <p>B 概ね計画どおりだが不十分な点や課題が残った。</p> <p>C 不十分な点や課題が多く、計画通りにいかなかった。</p>

2-4 憩いの図書館

基本方針4 憩いの図書館

評価のポイントと取組事例	<p>(3) 快適な読書空間の確保</p> <p>① 閲覧室のサービス等追加</p> <p>(中央) 児童室に BGM 大型絵本棚設置 赤ちゃんえほんコーナーの設置 ティーンズコーナー設置 学習スペース等増設</p> <p>(中央、和賀) 児童用スツール設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートをきっかけに赤ちゃん連れの利用者が気兼ねなく利用していただくため、一般の利用者が声を気にしないように BGM を流した。利用者の要望もあり赤ちゃんえほんコーナーを設置。赤ちゃん絵本の利用が大幅に増加した。 ・学習スペースの座席を増やし、会議室・視聴覚室の開放情報を HP で提供した。休日やテスト期間以外でも学生の利用が増加。 <p>② 施設・設備の改修</p> <p>(中央) 椅子シート張替、クッション交換 一部 LED 化 公用車更新 AV 機器更新 駐車場一方通行化</p>
--------------	--

	<p>③ サービス追加 (中央) 飲料自販機設置 freeWi-Fi 導入 パソコン用電源タップ設置 QRコード入り貸出券発行 ・利用者の要望が多かったため導入。好評を得ている。</p> <p>④ 安心で便利な機器の導入 (中央) セルフ貸出機設置 閲覧室椅子シートを布製から合皮性に張替 (全館) 図書消毒機設置 ・新型コロナウイルス感染への不安の声が寄せられていたため導入。</p> <p>⑤ 和賀移転リニューアル 閲覧コーナー拡張 おはなしコーナー新設 エレベーター利用可能</p> <p>(2) 利用規定の見直し ① 施設利用許可基準作成 会議室、駐車場等の利用基準作成 ② 利用者の声館内掲示 要望への対応の可否や対応した内容を毎月館内に掲示 ③ 予約ルール見直し 市民が平等にサービスを利用できるよう見直し ④ 三密を避けるため、貸出冊数と貸出期間を倍にして対応(臨時措置)</p> <p>(3) 本をテーマにしたコミュニティの醸成支援 ① 本の伝言板 ② 会議室・視聴覚室のイベントへの貸出 読書ボランティアグループやママ友グループが利用。 ③ 古本市(年2回) 令和2年度は中止。</p> <p>(4) 多彩な空間の提供 ① 芸術団体等との連携によるイベントの開催 ハーブコンサート オカリナコンサート ひとり語りの会 紙芝居の演じ方 絵本作家「サトシン」さんイベント 市主催事業の館内開催と関連図書展示(心の健康、環境週間など)</p>
<p>評価</p>	<p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は新型コロナウイルスの影響によりイベントを中止したり、利用制限せざるを得なかった。 ・新聞、雑誌を読んだり、DVDを見たりする長時間滞在の利用者が増加した。 ・自動貸出機、図書消毒機の設置により新型コロナウイルス感染のリスクを減らすことができた。 ・利用者の声や協議会での意見におおむね迅速に対応することができ、サービスの向上につながった。 <p>【図書館協議会の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セルフ貸出機は利用しやすい。貸出一覧が出て便利。 ・消毒機設置のおかげでそれまで利用を控えていた人が安心して利用できるようになった。 ・ソーシャルディスタンス確保のため、座席にバツ印ではなく立体折り紙を置いて座れないようにしていることがとても良い。 ・古本市は楽しみにしている市民が多いので安全に配慮しながら開催を考えてほしい。 <p>【総合評価】</p> <p>A 計画通り実施し、一定の成果があった。</p> <p>B 概ね計画どおりだが不十分な点や課題が残った。</p> <p>C 不十分な点や課題が多く、計画通りにいかなかった。</p>

3 北上市立図書館をとりまく現状と課題

3-1 社会の変化

(1) 人口減少と少子高齢化

本市においても総人口は増減を繰り返しながらも微減しており、年齢区分別では、年少人口の減少と老年人口の増加が続いています。この状況に歯止めをかけるため子育て世代への支援対策がとられています。

長寿命化に伴い、健康年齢の延伸や、退職世代の自由時間の増大に伴う、生涯学習の重要性も取り上げられています。

(2) 情報媒体の多様化

各家庭におけるインターネットの普及、スマートフォン、タブレットなどデジタル端末の多様化が進み、電子書籍、デジタルアーカイブなどがより多く利用されるようになっていきます。これらの変化に対応するための職員の専門性も求められています。

3-2 北上市立図書館の現状

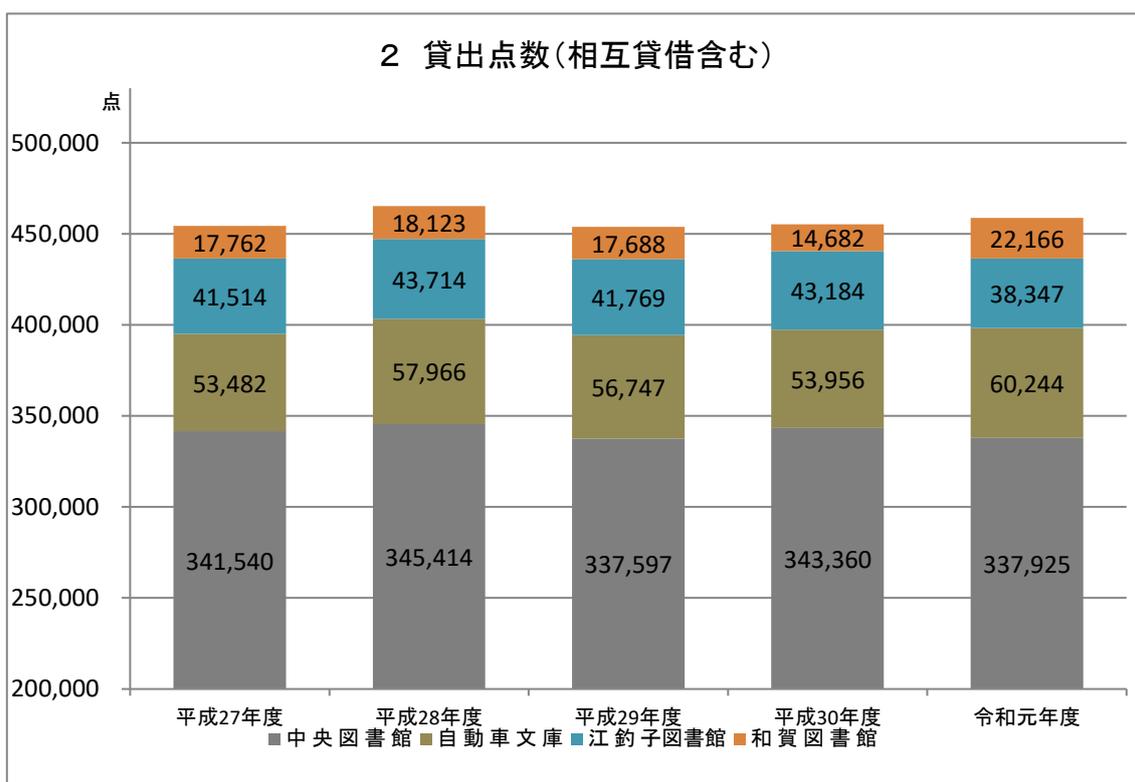
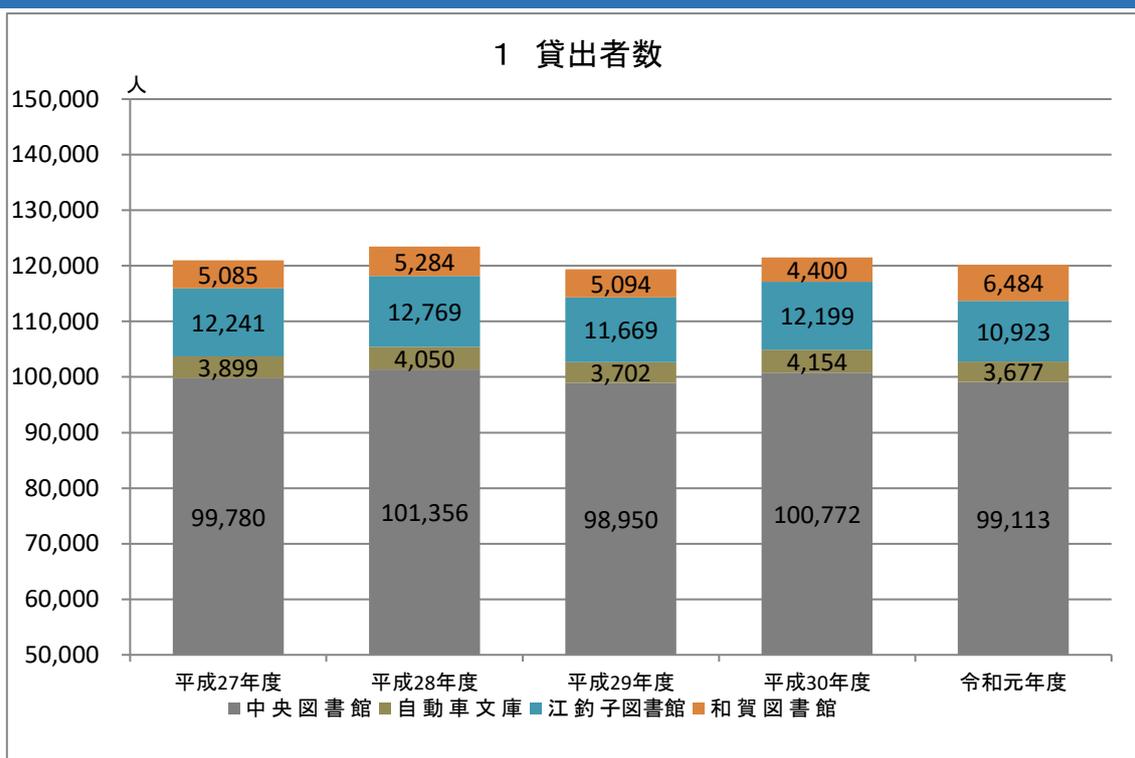
3-2-1 施設概要

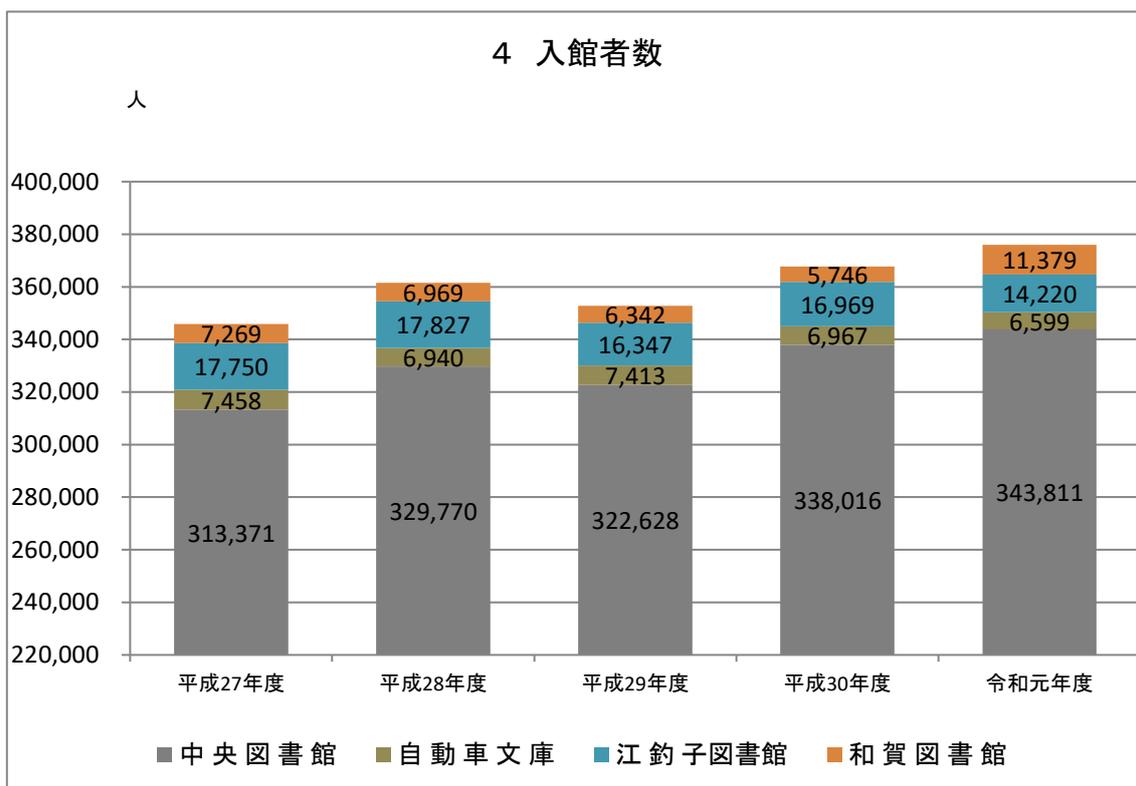
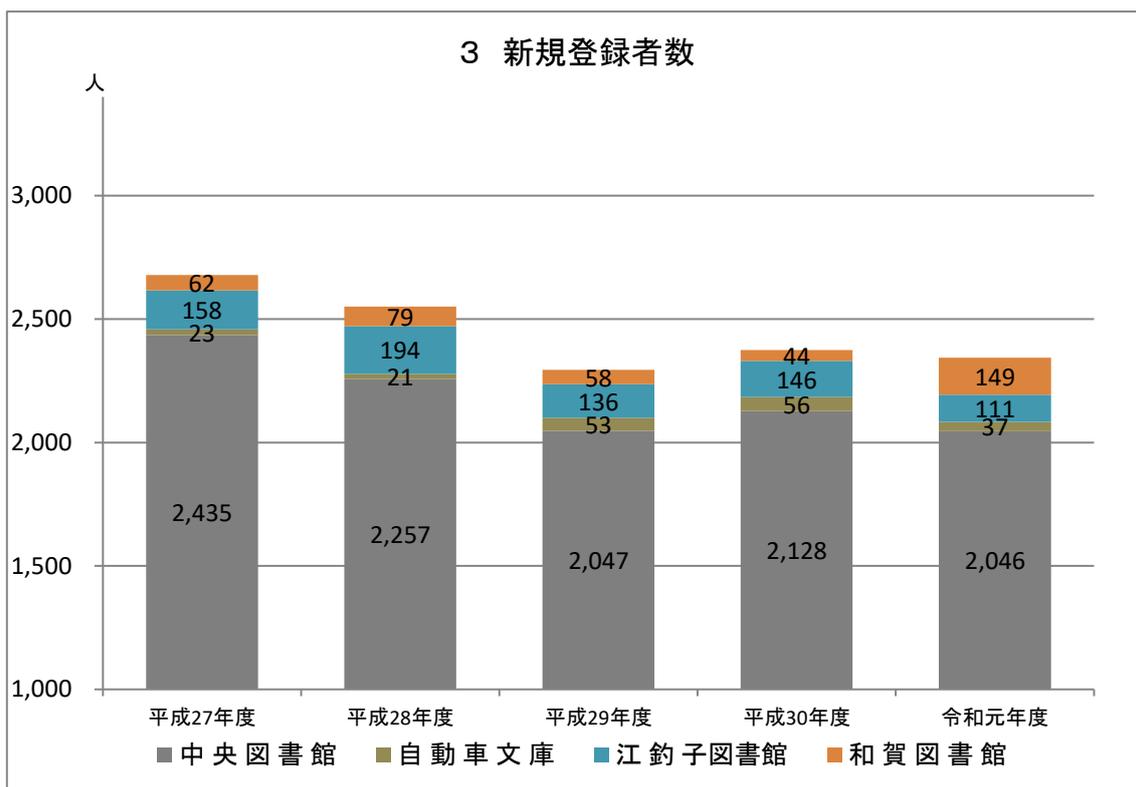
現在北上市立図書館は、中央図書館、和賀図書館及び江釣子図書館の3館で構成されています。

このほか自動車文庫「ともしび号」を運行しています。

施設名	所在地	建設年度	建物延床面積 (㎡)	令和元年度末 資料点数(点)
中央図書館	本石町二丁目5番35号	平成5年度	2,651.16	204,258
江釣子図書館	上江釣子17地割116番地	昭和56年度	132.01	20,433
和賀図書館	和賀町横川目11地割160番地	移転 平成31年度	359.14	13,234
自動車文庫 ともしび号				58,228
			計	296,153

3-2-2 利用実績の推移





新規登録者数は減少傾向にあります。全体の貸出者数、貸出点数は現状を維持し、入館者数は年々増加しています。

本の貸出は利用せず読書する人や、イベントに参加する人、学習スペースや雑誌・新聞コーナーの利用をする人が増えていることが見て取れます。

3-2-3 数値目標達成状況

指標		現状 (平成26年度)	実績 (令和元年度)	目標 (令和2年度)
1 個人登録率・登録者数	登録率	24.3%	24.0%	27.2%
	登録者数	22,757人	22,149人	25,300人
2 年間貸出点数・人口 一人当り貸出点数	貸出点数	434,183点	458,682点	486,000点
	一人当り	4.64点/人	4.97点/人	5.22点/人
3 入館者数		331,573人	376,009人	370,000人
参考：人口/将来推計人口		93,524人	92,298人	93,170人

- 1 登録率と登録者数は減少しました。(※3年間利用がないと登録解除)
- 2 年間貸出点数と一人当り貸出点数は増加しましたが、目標には届いていません。
- 3 入館者数は目標を上回りました。

登録者数の減少は、PRの不足のほか、人口減少や少子化等年齢構成変化の影響も受けていると考えられます。一方、貸出点数が現状を維持し、入館者数が増加していることは、ニーズを意識した蔵書選定や利用規定の見直し、イベント企画、業務効率化によるサービス向上の取り組みの成果と考えられます。

3-2-4 市民ニーズの状況

令和2年10月に利用者アンケートを実施しました(回答数351人)。

アンケートにおいて現在図書館を利用していると回答した人の図書館全般についての満足度は91.8%でした。

■図書館運営について■

図書館の設備	89.1%満足
検索システムの使いやすさ	79.7%満足
イベント(おはなし会等)	83.3%満足
展示(巡回展示、ミニテーマ展等)	88.7%満足
本の案内・調べもの	90.6%満足
職員の対応	94.1%満足

満足度は高いものの、検索システムや調べもの相談については利用したことがない人の割合も20%程度見られました。図書館は本の貸出をすることでという認識が強く、市民の学習をサポートするサービスについて知られていないことがわかりました。

■資料について■

図書の充実（全般）	75.6%満足
こどもの本の充実	86.8%満足
地域資料	85.7%満足

関心のある分野は、「料理・手芸」「旅行・観光」「健康づくり」「歴史」「芸術」が上位を占めました。趣味の本や、暮らしに役立つ本、こどもの本の満足度が高いことがわかりました。一方、「進路・就職」「経営・ビジネス」に関心のある人は少なく、学生や生産年齢層の利用が少ない傾向が伺えます。

■図書館を利用して■

面白い本が見つかった	75%がよくまたは時々感じる
探していた情報が得られた	69%がよくまたは時々感じる
仕事や資格取得に役立った	28%がよくまたは時々感じる
本や情報の探し方がわかった	28%がよくまたは時々感じる
落ち着いて読書や調べものができた	64%がよくまたは時々感じる

■自由記載■

<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館施設の充実（こども専用コーナー、学習スペースの確保など） ・ 図書館資料や地域資料の充実 ・ 貸出期間、冊数の増 ・ 貸出期間の延長 ・ 職員のレファレンス力、接遇力向上
--

3-3 北上市立図書館の課題

3-3-1 新規登録者数の減少

過去5年間の利用状況を見ると、新規登録者数が減少傾向にあります。現在図書館を利用していない市民に利用を促すため、生涯に渡って市民の学びに寄り添う図書館の機能やサービスを、広く市民に知ってもらうことが課題です。

3-3-2 若年層の読書離れ

登録者、利用者の年齢構成をみると中高生の登録が少なくなっています。学習スペースの利用は増加していますが、本を借りる人は少ないことがわかります。この世代への読書推進の取り組みを図書館としてどのように進めていくかが課題です。

3-3-3 多様化する情報への対応

インターネットの普及やデジタル端末の多様化に伴い、利用者のニーズも変化しています。図書館においても、従来の紙媒体だけではなく、電子書籍やデジタルアーカイブ等の多様な情報へのアクセスが求められるようになっていきます。所蔵資料のデジタル化も含めた資料収集や保存、提供など対応するため職員の専門性と、機器やシステム等の環境が不足しています。

3-3-4 図書館の基本的機能の充実

利用者アンケートから検索システムやレファレンス（参考調査）の認知度が低いことがわかりました。市民の生涯における学習の場としての図書館となるためには、図書館の基本的機能（資料提供、参考調査等）を活用してもらうことが課題です。

4 北上市立図書館のあるべき姿

4-1 基本理念

目標年次（令和7年度）を見据え、北上市立図書館が目指すあるべき姿を基本理念として次のとおり掲げます。

市民の学びに寄り添い「知る自由」を保障する知と情報の拠点

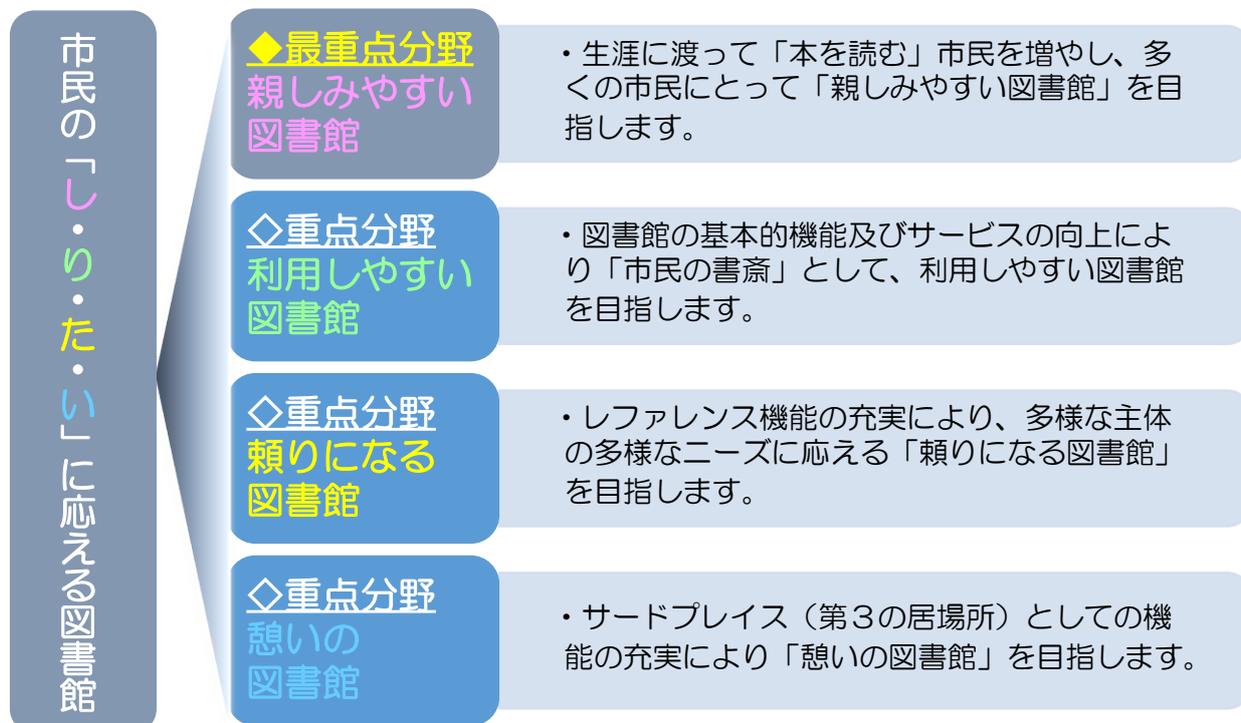
北上市立図書館は、読書活動の推進により生涯を通じて市民の学びに寄り添うとともに、情報提供とその利活用を支援することにより市民の「知る自由」を保障し、市民の福祉と地域の発展を支える知と情報の拠点となることを目指します。

4-2 基本方針

基本理念を実現するための取り組みの指針として、「親しみやすい図書館」、「利用しやすい図書館」、「頼りになる図書館」、「憩いの図書館」の4つの柱を基本方針として掲げます。

これまで最重点分野として取り組んできた「親しみやすい図書館」を引き続き推進することとします。

これらの4つの基本方針に沿ったサービスを展開することにより、市民の様々な「しりたい」に応える図書館となることを目指します。



4-2-1 親しみやすい図書館

読書は、人間の精神的な成長や知的好奇心を向上させるとともに、生活や仕事などの様々な場面での生産性を向上する素地を作ります。また、娯楽としての読書は、人生に豊かさをもたらします。

生涯に渡って読書習慣が身近なものになるよう、生涯の各段階の読書に寄り添う「親しみやすい図書館」を目指します。

このため、乳幼児から青年期以降まで切れ目なく読書を推進する環境を整備するため、対象者別サービスの充実をはかります。

特に、一生涯の読書習慣の基盤となる乳幼児の読書環境の整備を重点取り組みとして実施し、学齢以降への読書の習慣化へつなげていくこととします。

また、「第4次北上市子どもの読書活動推進計画」に基づいて、学校等との協力・連携を図り、読書への関心と理解を深める機会の提供に努めます。

◆重点項目 生涯の各段階に応じた読書環境整備の推進

① 乳幼児の読書環境の整備（重点取り組み）

一生涯の読書習慣を決定づけるこの段階の読書は、保護者の読書への理解に左右されることから、保護者の読書の重要性の理解を促進するとともに、子どもと保護者がともに本に親しむ機会をつくり出します。

●ブックスタート

●北上市保健・子育て支援複合施設内の図書支援及び関係機関との連携

●赤ちゃん向けえほんコーナーの充実

●出前講座、おはなし会、こども映画会

また、自動車文庫ともしび号の幼稚園・保育園への巡回により、子どもたちが読書に親しむ環境の充実をはかります。

●自動車文庫ともしび号の巡回

●幼保貸切利用

② 児童（小学生）の読書環境の整備

乳幼児期から引き続き保護者への理解促進をはかるとともに、学校との協力・連携を強化することにより、子どもたちがより多くの資料と出会う機会を提供します。

学校からの依頼に応じて、学習活動のテーマに沿った図書資料の貸出など、学校との連携を深めます。

●テーマ別資料貸出

●学習支援図書の購入と利用促進

ともしび号の学校への巡回により、子どもたちの読書に親しむ環境の充実をはかります。

●自動車文庫ともしび号の巡回

●読書通帳の配布

③ 生徒（中学・高校生）の読書環境の整備

行動範囲も広くなり、図書館との関わりが一番薄いと言われるこの段階では、読書の嗜好が分化し、求められる資料のジャンルも多様化してきます。

中高生のニーズを把握し、資料の確保と情報提供並びに読書活動に関わる場を提供します。

- 学習スペース、読書スペースの開放

- 中高生向け図書（ティーンズコーナー）の充実、周知

④ 青年期以降の読書環境の整備

娯楽をはじめ、日常生活や産業経済活動など、多種多様な情報が求められることから、ニーズに応える資料を確保するとともに、読書に親しむための機会の提供をおこないます。

- 大人名画座

- 各種講座

4-2-2 利用しやすい図書館

多くの市民が図書館を有効に活用するためには、図書館が誰でも利用できる「市民の書斎」として身近な存在であると認識されることが必要です。

登録者数が減少する中、入館者数は目標を上回る水準で推移し、貸出者数、貸出冊数は現状を維持していることから、これまでのサービスを維持しながら、現在図書館を利用していない市民に対して利用につなげていく取り組みが必要です。

市民の情報へのニーズに配慮し、すべての市民にとって「利用しやすい図書館」を目指します。

そのために、図書館の基本的機能（資料の収集、整理、保存、提供）を常に充実させていくとともに、資料やその利用用法についての情報提供（広報）を積極的に行い、図書館が市民にとって身近な情報拠点施設であると認識されるよう努めます。

また、市民の身近に本がある環境の整備をめざし、自動車文庫ともしび号巡回による市内全域サービスにより図書館サービス網の充実をはかるとともに、全ての人が知る自由を享受できるよう、障がい者サービスの充実をはかります。

新たに導入した IC システムを活用しサービス向上を図るほか、マイナンバーカードを活用したデジタル行政サービスについても検討します。

◇重点項目 図書館の基本的機能の充実

① 資料の充実・整理・提供方法の見直し

市民が必要とするあらゆる情報を提供できるよう、全項目が網羅・体系化されている百科事典のような幅広い資料群の整備を目指します。また、多くの市民の期待に応えられるよう、利用者のニーズを的確に把握し、必要な資料の確保に努めるとともに、整理・提供方法を常に見直していきます。

- 市民モニター・アンケート等によるニーズ調査
- 閲覧室の見直し
- 雑誌スポンサーによる雑誌の充実
- 資料データの作成と管理
- 相互貸借による絶版・品切資料の提供
- 学校支援図書整備
- IC システムを活用したサービス提供

② 積極的な情報提供（広報）

多様な媒体による情報提供を行い、情報の質と量の拡充をはかります。

- ホームページの充実
- 図書館外での広報推進

③ 図書館サービス網の充実

居住地による図書館の利用機会の不均衡を抑制するため、自動車文庫の巡回や分館の設置によるサービス網の充実をはかります。

- 自動車文庫ともしび号の巡回
- 団体貸出

④ 障がい者サービスの充実

障がいによる図書館の利用機会の不均衡を抑制するため、障がい者サービスの充実をはかります。また、社会福祉協議会や岩手県立視聴覚障がい者情報センターとの連携をはかります。

- 自宅配送サービス
- 大活字本の購入

4-2-3 頼りになる図書館

情報化が進んだ現代社会においても、依然として情報アクセス格差が存在します。北上市立図書館は、市民の「知る自由」を保障するため、誰でも必要な情報を利用して問題を解決できるよう、専門職員を育成し、情報提供能力の向上を図ります。そして、市民が求める多様な情報の提供と利活用を支援し、「たよりになる図書館」を目指します。

また、図書館は、地域の自然、歴史や文化などの地域資料を保存し、後世に引き継ぐ「地域の記憶装置」としての機能を担っています。

各地域の課題解決のため、これらの情報の積極的な利活用を促進することとし、地域・行政資料の積極的収集・保存に努めるとともに、市民による主体的な地域づくりを支援するため、地域づくり団体との連携により、地域資料の発信につとめます。

◇重点項目 レファレンス（参考調査）機能の充実

① 職員のレファレンス技術向上

利用者の相談内容を正確に理解し、確かな資料や情報と市民とを結びつけ、必要な資料を的確に提供できるよう、職員の資質・能力の強化、特にレファレンス技術の向上をはかります。

- 職員の研修参加と職場への拡散

② 情報提供能力の強化

どのような資料請求にも対応できるよう安全で機能的な図書館システムを構築し、レファレンスツールの充実や、専門機関等との連携体制を強化します。

- 図書館システムの構築
- 利用者検索システムとソフトの充実（新聞データベース、電子図書の導入、和賀新聞データベース化等）
- ICシステムを活用した資料管理

③ レファレンス機能の周知

レファレンス機能の存在を、広報やホームページ等を通じて市民、事業者、行政各課等に広く周知します。

- ホームページでのレファレンス事例公開

④ 地域資料の活用促進

地域資料を活用した地域づくりや地域間交流を支援するため、情報発信を行います。特に、利用者より要望の多い分野の資料拡充、北上市出身者、北上市に関する資料、交流センター、NPOなどが発行する地域誌、地図など北上独自で流通経路にのらない資料について積極的な収集と保存を行います。今後増え続ける地域資料の保存場所の不足と劣化への対策を検討します。

また、登録データの修正・追加を行い、利便性を向上させます。

- 図書館収蔵資料展
- 地域資料のデータの修正・追加
- 古文書の整理・解読及び目録作成
- 地域資料のデジタル化の検討

4-2-4 憩いの図書館

日常から離れ、快適に憩うことのできる空間での読書は、生活に安らぎを与え、人生を豊かにします。また、多様な学びや人とのつながりにより生きがいを持つことは重要です。

市民が共に楽しく学び、本と人、人と人がつながる「憩いの場」として気軽に利用できる「居心地のよい空間」づくりと、図書館という枠にとらわれない「多彩な事業」の開催に努めます。

家庭でも職場・学校でもないサードプレイス（第3の居場所）としてそれぞれに憩うことのできる「憩いの図書館」を目指します。

◆重点項目 サードプレイス（第3の居場所）としての機能の充実

① 快適な読書空間の確保

施設・設備の老朽化が進んでいることから、維持管理を適切に実施するほか、施設・設備の改修や配置の見直し、利用規定の見直し等により快適な読書空間の確保に努めます。

- 施設・設備の改修、配置の見直し

- 利用規定の見直し

② 本をテーマにしたコミュニティの醸成

読書への嗜好は極めて個人的なものであり、同好者が直接出会うことはまれですが、だからこそ同好者の出会いがその後の人生に影響を及ぼす場合があります。本の伝言板や読書に関するイベント等に会場を提供することにより、本を通じた人と人との出会いと交流の場を創出します。

- 本の伝言板

- 会議室・視聴覚室のイベントへの貸出

③ 多彩な空間の提供

サードプレイス（第3の居場所）として、多様な市民がそれぞれに憩うことのできる多彩な空間を提供します。「読書」だけにとらわれない「図書館」の枠を超えた新たな空間の提供をおこないます。

- 他団体等との連携によるイベントの開催

5 進捗状況の点検・評価

運営方針に沿って事業を展開し、実績を点検・評価します。

5-1 方法

- ① 各年度の事業計画を策定します。
- ② 年度ごとに事業実績、進捗状況を自己評価します。
- ③ 評価結果を図書館協議会で検証し、次年度の事業計画に反映させます。
- ④ 最終年度に総合的な事業実績と数値目標の達成度を点検・評価し、次期方針に反映させます。

5-2 数値目標

事業の進捗を評価するための基準として、次のとおり数値目標を設定します。

指標		実績 (令和元年度)	目標 (令和7年度)
1 個人登録率・登録者数	登録率	24.0%	26.5%
	登録者数	22,149人	25,000人
2 年間貸出点数・人口一人当り 貸出点数	貸出点数	458,682点	486,000点
	一人当り	4.97点/人	5.15点/人
3 入館者数		376,009人	383,000人
参考：人口/将来推計人口		92,298人	94,298人

6 資料

6-1 利用者アンケート質問票

図書館に関するアンケート

2020年10月 北上市立図書館

今後の図書館サービスの向上に役立てるため、アンケート調査にご協力いただきますようお願いいたします。

あてはまるものに○をつけてください。

1 年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
2 住所	旧北上地区	江釣子地区	和賀地区	市外 ()			
3 職業	会社員・公務員	自営業	パート アルバイト	学生	主婦	無職	その他 ()

問1. 図書館を利用していますか？ 利用している⇒問2へ 利用していない・利用していた⇒問6へ

問2. 利用している図書館はどこですか？（いくつでも）

中央図書館 江釣子図書館 和賀図書館 自動車文庫（ともしが号）

問3. 図書館を利用して、次のようなことを感じますか？

1 面白い本が見つかった	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない
2 探していた情報や知識が得られた	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない
3 仕事や、資格取得の役に立った	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない
4 本の探し方や、知識・情報の調べ方がわかった	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない
5 落ち着いて読書や調べものをする事ができた	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない

問4. 図書館の満足度について

1 図書館の施設・設備について	満足	やや満足	やや不満	不満	
2 図書の充実について（全般）	満足	やや満足	やや不満	不満	
3 こどもの本の充実について	満足	やや満足	やや不満	不満	利用したことがない
4 地域資料の充実について	満足	やや満足	やや不満	不満	利用したことがない
5 蔵書検索システムの使いやすさについて	満足	やや満足	やや不満	不満	利用したことがない
6 図書館でのイベントについて (おはなし会、映画会など)	満足	やや満足	やや不満	不満	参加したことがない
7 展示について (取蔵資料展、巡回展示、ミニコーナーなど)	満足	やや満足	やや不満	不満	利用したことがない
8 本の案内・調べもの相談について	満足	やや満足	やや不満	不満	利用したことがない
9 職員の対応について	満足	やや満足	やや不満	不満	

問5. 全体的に図書館にどの程度満足していますか？ 満足 やや満足 やや不満 不満 ⇒問7へ

問6. あなたが図書館を利用しない理由はなんですか？（いくつでも）

本を読まない 図書館が遠い 書店等を利用している 忙しい その他 ()

問7. あなたは紙の本と電子書籍どちらを利用していますか？

紙の本 電子書籍 どちらも利用している どちらも利用していない

問8. あなたが関心のあるものをこの中から3つまで選んでください。

育児	介護・医療	健康づくり	経営・ビジネス	旅行・観光	進路・就職	お金・年金	農業・園芸	歴史
芸術	料理・手芸	心の病気	情報・コンピュータ	国際問題	政治・経済	住まい	人間関係	スポーツ

問9. 図書館へのご意見などありましたらご自由にお書きください。

お問い合わせ先

北上市立中央図書館

〒024-0093 北上市本石町二丁目5番35号

TEL : 0197-63-3359

FAX : 0197-64-5545

E-mail : tosho@city.kitakami.iwate.jp